

i-coreFUCHU利用状況報告書



府中市



令和4年1月

オープン 7月21日(水)



芝生広場

イベントや作品の展示、体操、商品の展示・販売なども可能。シンボリックツリーには、ライトで木漏れ日を再現。1時間ごとに光の演出も。



多目的室

会議 (web含む)、セミナー、習い事の教室などにも使用可能。



コミュニティスペース

勉強、仕事など自分時間を有効的に過ごせるフリースペース。テーブル・イスは府中家具を採用。

★全国でも稀！
「広さ1800㎡」「ふかふか感」
上質な屋内芝生広場

★商業施設内では中国地方初！
5G & ハイスピークWi-Fi

★仕事帰りの夕方も
土日祝日も家族で気軽に立ち寄れる
『子育てステーションちゅちゅ』

★安心の駐車台数と屋内駐車場完備
雨の日も安心して来店

★JR府中駅、道の駅から近い
家族、友人との待ち合わせ
バス、電車の待ち時間に便利

★天満屋全面リニューアル
・明るくおしゃれでゆったり店内
・同フロアにSeria、アミューズメント、ピアノ教室が開店

○多くの市民、学生、企業やお店の皆さんに自由な発想、普段使い感覚で
・芝生広場で
寝そべる、カフェする、おしゃべり、テレワーク、好きに遊ぶ、レッスン、フリマ、家具や新商品のショールーム、児童生徒園児の発表会、ドローン

・多目的スペースで
セミナー、講演会、会議

・通路や柱壁面でも
ギャラリー、プロジェクションマッピング、通路でジョギング、ミニ四駆

・映像機器を併せて
自作動画、パブリックビューイング、Webコンサート、e-スポーツ、企業PR

○おしゃれな集客装置
・黒板アート、ストリートピアノ
・LEDウォール、自然光再現照明
・シンボリックツリー、木漏れ日、府中家具

○よりホンモノの学びや体験

母子手帳交付も 相談も 遊びも

はじめて
府中市子育てステーション
ちゅちゅ
です

2021
7/21 (水)

i-coreFUCHUに
(府中天満屋2F)
オープン!

子育てに関する相談
子連れで遊ぶなら ちゅちゅ

1 気軽に利用できる
府中天満屋の中に子育て支援施設が移設します。お買い物ついでに寄ることができるようになりました。ついでに来てみてください。

2 土日もち寄りできる
母子手帳交付・相談・遊び
いままでは平日しか開いていなかった子育て支援施設ですが、土日オープンすることになりました。家族でらってお越しください。

3 1カ所で解決できる
専門家による発達相談など各種相談・母子手帳交付・育児用品の支援・パパママ教室やハーフバスツアーなどのイベント、遊び場など子育てに関するいろいろを集めました。

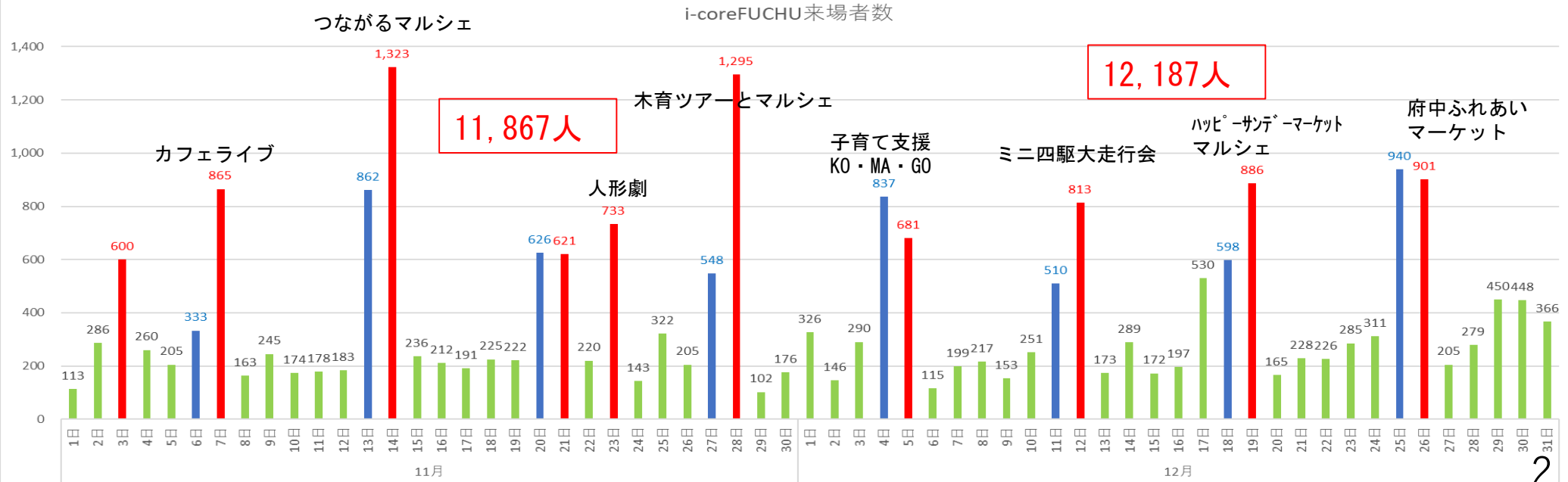
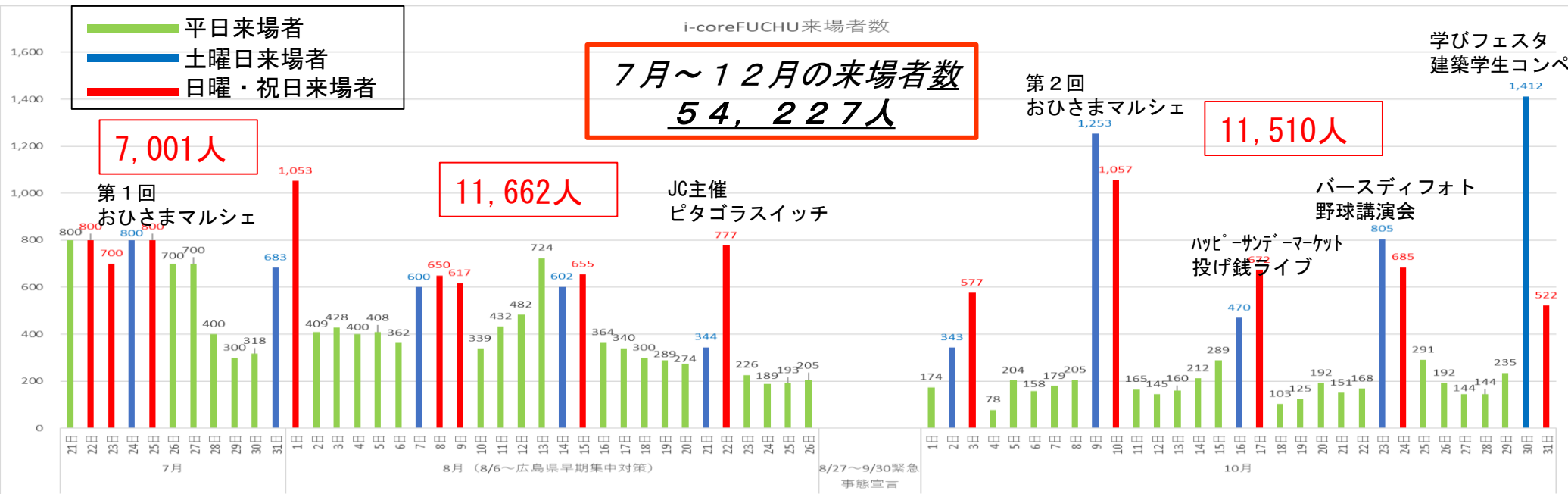
府中市 子育てステーション ちゅちゅ (府中市 新ひらつか推進課)

tel.0847-46-2455
https://fuchu-chuchu.jp

【実施事業】
フロントまで「アドバイス」の場を確保するウツラ
府中府中では、経産局から出産、子育て、発達相談を、保健師や保育士、公認心理師の専門職が一緒に対応する「開中級なごう」体制を強化

【設備】
広い乳幼児遊び場「キッズゾーン」、個別相談に対応する発達相談室を備えた「相談室」、子どもと保護者や保護者同士の交流の場「交流ゾーン」、乳幼児健診の「健診室」、キッズパルク、子育て支援センター「おもちゃ」を併用して

【お楽しみ】
「おもちゃ」の「ちゅ」とマママキイから子どもに、子どもからパパやママへの「おもい」を分かちあえる今までの経験、事業性を生かす「子育て支援センター」の「おもい」を併用して



	稼働日数	集客数	多目的室	芝生広場	ギャラリースペース その他
7月	11日	7,001人	7件	4件	11件
8月 (8/27~8/31まで閉鎖)	26日	11,662人	9件	18件	27件
9月 (9/1~9/30まで閉鎖)	0日	0人	0件	0件	0件
10月	31日	11,510人	30件	21件	82件
11月	30日	11,867人	39件	51件	52件
12月	31日	12,187人	28件	39件	28件
合計	129日	54,227人	113件	133件	200件

※数字は、件/日単位の利用件数。但し、事前の準備は件数に含んでいない。

7月、8月（8/1～8/26）【8月27日から9月30日まで緊急事態宣言により施設閉鎖】

トピックス

- ・オープン日が、夏休み、連休、猛暑もあり来場者数は順調に伸びた。
- ・プレプログラムで「おひさまマルシェ」を開催。施設との相性は良好。出店者のリピート率好調。
- ・天満屋ストア、テナントとの調整、協議事項多数。（来客者は、天満屋エリア・行政エリアという区分が分からない）
- ・道の駅と連携し、道の駅への惣菜出店者を紹介してもらい、週末に芝生広場で弁当等販売。
- ・夏休み終了（8/22）と同時に平日の来場者減少傾向。
- ・太鼓演奏会開催による音の苦情あり。音楽イベントについては、事前に音量確認をして調整しながら開催。
- ・8/6～9/12まで府中市が集中対策重点区域に指定。期間中の新規予約は受け付けなかった。
- ・上下町「四季の里」で開催された「山の日」をライブ配信。
- ・平日での多目的室の会議利用が増加。（学校関係、福祉など）
- ・紙ベースのみでアンケートをしていたが、グーグルフォームを活用したアンケートも開始。

アンケート要望・課題・改善

- ・一階平面駐車場、三階駐車場の車椅子駐車場が分かりにくい。→天満屋・道の駅定例会議で天満屋ストアへ報告・改善。
- ・クーラーが効き過ぎて寒い→天満屋ストア担当者へ温度調整要望。
- ・芝生広場の土足と裸足のエリアが分かりにくい→広場への貼り紙などでエリア区分を周知。
- ・多目的室への消毒液の設置→施設の入口等のみ設置していたので、追加設置。
- ・イベント情報の共有→専用HPでお知らせ。月に一度天満屋ストアと道の駅との連絡会議を開催し、各種情報を共有。
- ・アンケートコメント→「とてもきれいで、いい施設だと思います」「老若男女問わず様々な方が話されている温かい空間だと思う」「ピアノが置いてあるのがとても良いです」「子どもたちが宿題に励んでいる姿が微笑ましい」「衣料品店が欲しい」

10月

トピックス

- ・ギャラリースペース利用した絵画展示、作品展は関係者が訪れるきっかけになる。
- ・10月からエクササイズ教室の利用が定期化（月2回）

アンケート要望・課題・改善

- ・カフェなどの飲食機能の要望多数
- ・車いす利用者から多目的トイレへ手摺りを設置してほしい→設置工事済み
- ・週末に出店している飲食販売者からキッチンカーイベントを開催したいとの相談→場所の提供、情報発信の協力、関係課との調整・情報共有

11月

トピックス

- ・ プレプログラムで「廃材ワークショップ」を開催。募集開始直後から申し込みが殺到し、数日で定員に達した。親子での参加がほとんどで、親子でのものづくり体験ができた。
- ・ 近畿大学工学部によるプログラミング教室を開催。小学校中・高学年11人が参加し、大学生が学習をサポートした。
- ・ 府中市公式アプリ「My府中」へ「i-coreFUCHU掲示板」作成
- ・ 市内在住大学生を中心に近隣の大学生、高校生で「わいわいサークル」立ち上げ（12月に館内イルミネーション装飾やクリスマス装飾を企画）
- ・ 11月23日（火）に道の駅西側でキッチンカーイベント開催

アンケート要望・課題・改善

- ・ 当日の企業参加は見られなかった。企業紹介等を自主的にしていただくことで市内の産業振興につなげることができるのでは。
- ・ 芝生広場に大きな時計を設置してほしい。

12月

トピックス

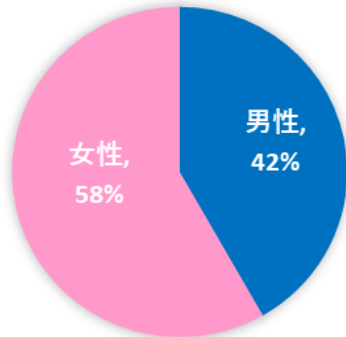
- ・ 芝生広場にミニ四駆の巨大コースを設置し大走行会を開催した。市内外の幅広い年齢層の参加者。近隣に同様のコースがなく、また屋内施設は珍しいらしく、次回開催を希望される声が多かった。また、MG（ゲームセンター）から協賛事業として参加者にゲーム無料利用券の提供をいただいた。
- ・ 芝生広場をはじめとして、音楽イベントの開催希望者が増加。音楽イベントは集客力が高く人気。
- ・ 芝生広場に商工会議所女性会寄附による時計設置。
- ・ たんぽぽ園保育所園児によるストリートピアノの演奏や小学生兄弟による絵画展を開催。アート系で市内の才能あふれる子の利用が続いた。
- ・ 12月議会で芝生広場等への「インタラクティブプロジェクションマッピング」設置の補正予算が可決。年度内の設置に向けて準備中。

アンケート要望・課題・改善

- ・ アンケートコメント→コミュニティスペースは勉強をしたり、Wi-Fiを利用して仕事したりネット見たり、いろいろですが静けさを求める人もいたり、大声で電話する人もいたり。電話コーナー欲しいです。すごいアイデアで驚きました。何もない広いスペース、フリーWi-Fi。本数の少ないバス、電車。帰省のたびに困ってましたが、超利用しています。何もないのが逆にGood！
- ・ 企業向けWi-Fiの構築→年明けから運用予定。利用状況をみながら無料か有料の判断をする。
- ・ 「わたし自身色んなことに関わって挑戦してみたいです。何かのお役に立ちたい」とのアンケートコメントあり。

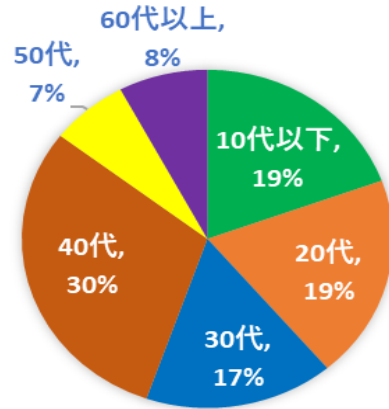
エリア	管理者意見
芝生広場	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の来場が増加 + 三世代で来場する家族の姿も多く見受けられる。 ・就学前の子どもを中心に、裸足でスポット照明を追いかける姿が微笑ましい。 ・週末を中心に、マルシェ、飲食出店販売、音楽イベント、衣料品販売などで予約が埋まっている。 ・マルシェなどの出店者のリピート率が高い。 ・タカオ株式会社（本社 福山市御幸町）から、子ども用遊具王様の靴（滑り台）とあおむしベンチを寄附受納。芝生広場へ設置。【その他にも、民間企業や団体の動きが活発になっている】 ・音楽イベントは音量の事前調整が必要だが、足を止める人、芝生に腰を下ろす人など、滞在時間の延長に一定の効果がある。テナント側も協力姿勢。
多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、講演会、子ども向け・大人向け教室、エクササイズ・ヨガ教室、音楽の練習など幅広く利用されている。（商業施設内にあることで、来客者が多目的室の利用について気軽に尋ねられる。） ・週末には芝生広場と多目的室の使用が重なり貸し出す机（35脚）、椅子（70脚）の数が不足する場面もある。 ・子ども向け無料プログラミング体験教室開催時には、芝生広場で遊んでいた子どもが急遽参加するなど、芝生広場と多目的室での相乗効果が見られる。
コミュニティスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・自分時間（勉強、仕事、趣味、おしゃべり、食事、手仕事など）を過ごす方が利用。 ・平日の夕方は高校生の自習や社会人の勉強での利用が目立つ。 ・天満屋アナウンス（エスカレーター注意喚起など）もあり、中には音を気にする人もいるが、多くの人は現状利用に一定の満足感を得ている様子。 ・少しマナーが悪い利用者もいる。（スマホ音量、大声での会話、接着剤を使用する手仕事、ゴミの置き去りなど）
ギャラリースペース	<ul style="list-style-type: none"> ・各種展示は、家族で来場するきっかけ（子や孫の作品が展示されているなど）になっている。 ・秋以降、団体、個人、市関連の展示や問合せが増加。 ・本格的な書画などは、多目的室（施錠、記帳、スタッフ常駐）の使用申請をされる場合もある。その際、ピクチャーレールの使用を希望する人が多い。（【入口正面には配備】）

性別



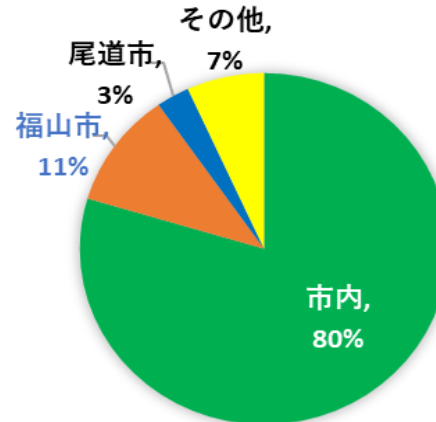
来場者は女性の比率が高い

年齢別



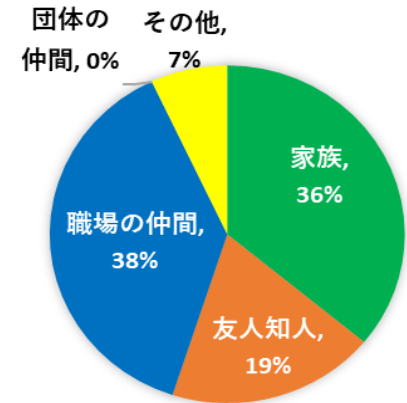
来場者の85%が40代以下

どこから



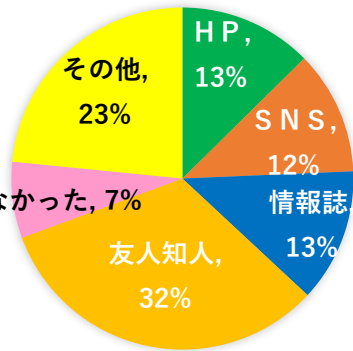
市内・福山市で9割を超えている

誰と



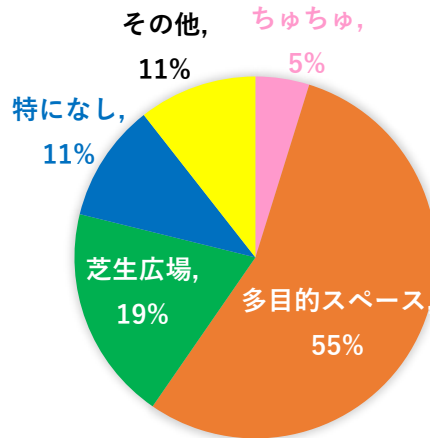
家族連れの利用率が高い

知っていたか



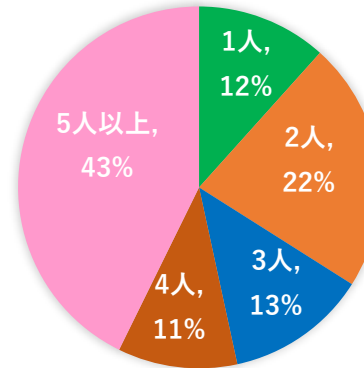
情報源は多様

来場目的



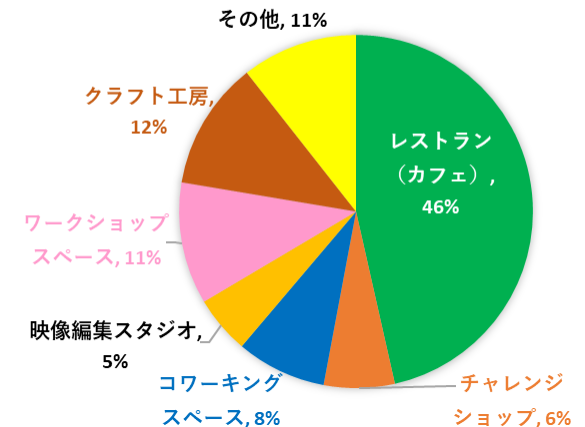
目的利用により来場した人が半数

来場人数



約90%が複数での来場

欲しい機能



飲食機能を望む声が約50%

★オープン以来、12月末までに約5.4万人の集客。

- ・子育て世代の来場者が増加。父親、祖父母も同伴し家族での来場者が増加。
- ・予想を上回る低年齢児、若者の来場。
- ・ちびっこは芝生広場や光の演出を楽しみながら駆け回って遊んでいる。
- ・学生や大人の方も芝生に寝そべったり、読書をして過ごしている。
- ・夕方には高校生、サラリーマンの滞在も増えた。
- ・市内に限らず、福山市在住のママ友同士での交流の場にもなっている。
- ・i-coreFUCHUに行けば何かやっているんじゃないかという期待感へ。



★企業や各種団体（JC、福祉系）をはじめとして、高校生や大学生からもi-coreFUCHUを使って何かやりたいという兆しが芽生えている。

- ・ギャラリースペースで、作品を展示希望の団体が増加している。また、展示に足をとめて、観覧される方も多い。
- ・市内中高の美術部生徒が作成する黒板アートと、倉敷芸術科学大学作成のプロジェクトマップの競演。
- ・市内企業から製作段階で排出される、廃材を活用したワークショップの開催や、マルシェに出店されているクラフト作者による、クラフト教室の開催。
- ・市内在住の大学生が発起人となり、まちなかに賑わいを創出させたいという目的のもとに、サークル活動が発足。
- ・広大な広場を活用し、巨大サーキットコースを組み立て、ミニ四駆大走行会を開催。ミニ四駆制作で、交流促進。
- ・府中市出身の元プロ野球選手による、中学生球児対象の講演会の開催。
- ・広場を使った、お茶会の開催。

★マルシェなどの出店オフターの増加

- ・プレプログラムで行ったマルシェの開催により、確実に輪が広がっている。
- ・週末の賑わいが広がり、市内外の飲食店経営者から、スポットでの出店希望が増加。
- ・より来場者の滞在時間を延ばすために飲食テナントの検討が必要。
- ・男性（父親）でも長時間過ごせる空間づくりが必要。
- ・マルシェが起爆誘発剤となり、市内外から問い合わせが増。市民の共感が芽生えている。



◎人が人を呼び、新たな賑わいが生まれはじめています

◎この流れを維持しながら、大人を含めた滞在時間の延伸策が重要